



©2001
スタジオジブリ

No.1562 | 平成28年 | 2016.1.1



毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材セン
ターの会員がお届けしています。

発行：三鷹市／編集：秘書広報課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1
法人番号：8000020132047

市役所代表電話
☎0422-45-1151(代)

ホームページ
(パソコン・スマートフォン用)
<http://www.city.mitaka.tokyo.jp/>

携帯サイト
<http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/>



今号の紙面から

マイナンバーの「通知カード」を
受け取っていない方へ 2面

年始のごみ収集開始日を
ご確認ください 2面

成人を祝福するつどい(成人式) 3面

市からのお知らせ 7面から

新春号



杏林大学井の頭キャンパス(4月開設予定・下連雀5-4-1)



国際基督教大学(大沢3-10-2)

学びと ともに 歩むまち 三鷹

開かれた 大学の「知」を 地域の力に

市内には、「杏林大学」「国際基督教大学」「ルーテル学院大学」をはじめとする多くの優れた教育機関があります。各大学では、特色ある教育を実践するとともに、地域に開かれた教育の場として市民のみなさんに向けた魅力ある講座などを実施しています。

また、三鷹駅前にある三鷹ネットワーク大学は、上記の三つの大学を含む19の教育・研究機関との協働により、高度な学習機会の提供と地域課題の解決に向けた研究活動などを行っています。

市では、今年の3月に確定する「第4次三鷹市基本計画第1次改定」の着実な推進に向けて、地域の知的資源を生かしながら、未来志向の取り組みを展開していきます。



ルーテル学院大学(大沢3-10-20)

新春座談会 4・5面



市内の三つの大学(上記)の学長をお迎えし、地域と大学の協働によってあらゆる世代の「学び」を支援し、これからのまちづくりに生かす取り組みについて、清原市長と語り合っていました。

「学び」と「活動」の循環のよう

「活動」に結びつくこともあるでしょう。

まさに生涯学習は、地域づくりの担い手を育み、強める過程でもあるのです。今年も「学び」と「活動」の循環がよろこびをもたらすことを願っています。

少子高齢化が進む地域では、学習した成果を福祉や防災などの多様な地域活動につなげたり、課題解決に向けて人や機関等を結ぶネットワークを構築したりする「人財」が必要です。「学び」が「活動」の開始や継続を支え、「活動」は「学び」への動機づけを顕在化させます。「学び」によって、人は新しい自己の能力や可能性を発見するきっかけを得るとともに、地域における具体的な「活動」に結びつくこともあるでしょう。

まさに生涯学習は、地域づくりの担い手を育み、強める過程でもあるのです。今年も「学び」と「活動」の循環がよろこびをもたらすことを願っています。

「一年の計は元日にあり」といいます。新年を迎えて、一年の目標を検討していこうという方は多いと思います。学校の定期試験を控えている方や、進学や資格取得のための受験を控えている方ばかりでなく、何らかの「学び」を考えている方も少なくないと思います。

一般に、「学び」の過程は、学ぶ人の知的好奇心を満たし、知識や技能を得ることによる達成感を与えます。「学び」には悩みもあるでしょうが、よろこびがあり楽しみがあり、「活動」に還元されることもあります。また、職業やボランティア活動、趣味の活動等をさらに充実させるために「学び」への意欲が湧くこともあります。

たとえば地域ケアネットワークの活動を担っていたら、市民の皆様の中には、「地域福祉ファシリテーター」や「傾聴ボランティア」の講習を受けてくださっている方がいます。また、コミュニケーション・スクールを基盤とする小・中一貫教育を通して、学校は、保護者や地域の多様な人々の参加による多世代交流の場ともなっています。公立私立を問わず、高校や大学との協働についても、今後さらに充実していくことが期待されます。

「一年の計は元日にあり」といいます。新年を迎えて、一年の目標を検討していこうという方は多いと思います。学校の定期試験を控えている方や、進学や資格取得のための受験を控えている方ばかりでなく、何らかの「学び」を考えている方も少なくないと思います。

一般に、「学び」の過程は、学ぶ人の知的好奇心を満たし、知識や技能を得ることによる達成感を与えます。「学び」には悩みもあるでしょうが、よろこびがあり楽しみがあり、「活動」に還元されることもあります。また、職業やボランティア活動、趣味の活動等をさらに充実させるために「学び」への意欲が湧くこともあります。

たとえば地域ケアネットワークの活動を担っていたら、市民の皆様の中には、「地域福祉ファシリテーター」や「傾聴ボランティア」の講習を受けてくださっている方がいます。また、コミュニケーション・スクールを基盤とする小・中一貫教育を通して、学校は、保護者や地域の多様な人々の参加による多世代交流の場ともなっています。公立私立を問わず、高校や大学との協働についても、今後さらに充実していくことが期待されます。

市長コラム

三鷹市長

清原慶子

「学び」と「活動」の循環のよう